

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月5日

【四半期会計期間】 第36期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 サイバネットシステム株式会社

【英訳名】 Cybernet Systems Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 安江 令子

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田練塀町3番地

【電話番号】 03-5297-3010

【事務連絡者氏名】 経理担当取締役 木元 覚

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田練塀町3番地

【電話番号】 03-5297-3010

【事務連絡者氏名】 経理担当取締役 木元 覚

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第3四半期 連結累計期間	第36期 第3四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	16,431,163	16,579,747	21,350,645
経常利益 (千円)	2,055,073	2,593,433	2,145,731
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,327,473	1,719,219	1,258,246
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,292,015	1,732,083	1,280,496
純資産額 (千円)	13,647,806	14,636,576	13,636,254
総資産額 (千円)	19,995,747	20,976,021	20,821,570
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	42.60	55.16	40.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	67.5	68.8	64.7

回次	第35期 第3四半期 連結会計期間	第36期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.93	12.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、第31期第2四半期連結会計期間より「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入していましたが、第35期第1四半期連結会計期間において当該制度を廃止し、当該信託が所有する当社株式を無償取得のうえ消却しております。なお、当該信託が所有していた当社株式については、自己株式として計上していたため、1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定にあたっては、当該株式数を控除する自己株式に含めて「普通株式の期中平均株式数」を算定しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による影響について継続して注視しており、業績への影響を最小化すべく引き続き取り組んでまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、209億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億54百万円増加しました。主として、現預金等の流動資産が増加したことによるものです。

負債は、63億39百万円と、前連結会計年度末対比8億45百万円減少しました。流動負債における賞与引当金や未払法人税等の減少が、主な要因です。

純資産は146億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億円増加しました。四半期純利益の計上に伴って利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.7%から68.8%へと改善しました。

経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が165億79百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は25億96百万円（同32.7%増）、経常利益は25億93百万円（同26.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億19百万円（同29.5%増）となりました。

国内ではITソリューションサービス事業が売上増収となる一方で、CAEソリューションサービス事業が減収となり、海外では台湾やベルギーの子会社が堅調に推移する等、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響を受けながらも、出張経費やイベント等の販売促進費の未消化、海外子会社での助成金受領、ならびに経費コントロールによる利益確保に努めた結果、売上高は微増にとどまりましたが、大幅な増益となっております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。

（CAEソリューションサービス事業）

売上高は135億29百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は33億54百万円（同20.7%増）となりました。国内では、主力商品であるマルチフィジックス解析ツール、光学系解析ツールの新規ライセンスの販売、エンジニアリングサービス等サービスビジネスが新型コロナウイルス感染症の影響を受けて低調に推移しましたが、保守契約の更新販売は堅調に推移しました。

海外では、販売子会社においては、中国、台湾でのマルチフィジックス解析ツール等の販売が好調に推移しました。開発子会社についても、STEM コンピューティング・プラットフォーム、公差マネジメントツール、最適設計支援ツール等の自社開発ソフトの販売と技術サポートサービスが、売上・利益に寄与しております。

STEM：Science, Technology, Engineering, and Mathematics（科学、技術、工学、数学）という総合的な分野の総称。

（ITソリューションサービス事業）

売上高は30億49百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益は2億29百万円（同6.5%減）となりました。在宅勤務（テレワーク）等の新しい働き方の拡大、次世代アンチウイルスソフトの導入等を背景に、クラウド製品を含むセキュリティソリューション、IT資産管理ソリューションが伸長する一方で、その他の分野は低調に推移しました。

(2) 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループは、事業に必要な資金を安定的に確保することを基本方針としております。当社グループの資金需要は、運転資金のほか、ソフトウェア開発費用、企業価値向上への貢献が見込める成長分野への事業投資等があります。これらの資金需要に対しては、自己資本及び必要に応じて親会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）または金融機関からの借入による資金調達を実施致します。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は41百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	129,600,000
計	129,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,076,000	32,076,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 あります。
計	32,076,000	32,076,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月30日		32,076,000		995,000		909,000

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 897,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,174,400	311,744	
単元未満株式	普通株式 3,800		
発行済株式総数	32,076,000		
総株主の議決権		311,744	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式51株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) サイバネットシステム株式会社	東京都千代田区 神田練堀町3番地	897,800		897,800	2.80
計		897,800		897,800	2.80

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,019,357	4,641,068
受取手形及び売掛金	4,382,373	4,379,756
有価証券	7,000,000	5,500,000
商品及び製品	8,910	7,190
仕掛品	9,472	45,092
原材料及び貯蔵品	22,032	14,502
短期貸付金	3,360,115	3,705,422
その他	1,223,421	969,355
貸倒引当金	3,565	4,250
流動資産合計	19,022,119	19,258,137
固定資産		
有形固定資産	364,840	325,323
無形固定資産		
その他	280,695	537,885
無形固定資産合計	280,695	537,885
投資その他の資産		
投資有価証券	1,758	1,658
その他	1,327,044	995,983
貸倒引当金	174,887	142,965
投資その他の資産合計	1,153,914	854,676
固定資産合計	1,799,450	1,717,884
資産合計	20,821,570	20,976,021

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,493,580	1,414,292
未払法人税等	530,742	333,098
賞与引当金	727,846	229,262
役員賞与引当金	44,600	23,970
前受金	2,021,158	1,914,468
その他	1,107,933	1,145,791
流動負債合計	5,925,860	5,060,883
固定負債		
退職給付に係る負債	1,230,834	1,251,041
その他	28,620	27,520
固定負債合計	1,259,455	1,278,561
負債合計	7,185,316	6,339,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	12,145,836	13,149,135
自己株式	577,684	565,150
株主資本合計	13,472,152	14,487,985
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,106	53,633
その他の包括利益累計額合計	8,106	53,633
非支配株主持分	172,208	202,225
純資産合計	13,636,254	14,636,576
負債純資産合計	20,821,570	20,976,021

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	16,431,163	16,579,747
売上原価	9,874,595	9,728,196
売上総利益	6,556,567	6,851,551
販売費及び一般管理費	4,600,155	4,255,197
営業利益	1,956,411	2,596,354
営業外収益		
受取利息	14,782	15,534
為替差益	-	10,909
助成金収入	98,081	43,137
その他	7,079	5,964
営業外収益合計	119,943	75,546
営業外費用		
売上割引	39	116
為替差損	21,182	-
助成金の返還	-	77,688
その他	59	662
営業外費用合計	21,281	78,467
経常利益	2,055,073	2,593,433
特別損失		
固定資産売却損	-	32
固定資産除却損	4,704	1,587
特別損失合計	4,704	1,620
税金等調整前四半期純利益	2,050,369	2,591,813
法人税、住民税及び事業税	577,091	629,536
法人税等調整額	96,503	182,290
法人税等合計	673,595	811,827
四半期純利益	1,376,774	1,779,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,300	60,766
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,327,473	1,719,219

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,376,774	1,779,985
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	84,759	47,902
その他の包括利益合計	84,759	47,902
四半期包括利益	1,292,015	1,732,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251,178	1,673,692
非支配株主に係る四半期包括利益	40,836	58,391

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
税金費用の計算	連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形	3,397千円	- 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	171,701千円	176,025千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月7日 取締役会	普通株式	260,043	8.26	2018年12月31日	2019年2月21日	利益剰余金
2019年8月7日 取締役会	普通株式	239,607	7.69	2019年6月30日	2019年8月26日	利益剰余金

(注) 2019年2月7日取締役会決議による配当金の総額には、株式付与ESOP信託口及び役員報酬BIP信託口が所有する当社株式(自己株式)324,000株に対する配当金2,676千円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月6日 取締役会	普通株式	389,477	12.50	2019年12月31日	2020年2月25日	利益剰余金
2020年8月5日 取締役会	普通株式	325,188	10.43	2020年6月30日	2020年8月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,567,792	2,863,370	16,431,163	-	16,431,163
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	13,567,792	2,863,370	16,431,163	-	16,431,163
セグメント利益	2,779,572	245,379	3,024,952	1,068,540	1,956,411

(注)1. セグメント利益の調整額 1,068,540千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,068,540千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,529,798	3,049,949	16,579,747	-	16,579,747
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	13,529,798	3,049,949	16,579,747	-	16,579,747
セグメント利益	3,354,597	229,475	3,584,072	987,718	2,596,354

(注)1. セグメント利益の調整額 987,718千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 987,718千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	42.60	55.16
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	1,327,473	1,719,219
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	1,327,473	1,719,219
普通株式の期中平均株式数(株)	31,158,269	31,170,177

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されていた信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間97,200株であります。

2 【その他】

第36期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当について、2020年8月5日開催の取締役会において、2020年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	325,188千円
1株当たりの金額	10.43円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年8月24日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月30日

サイバネットシステム株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 谷 哲 朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古 市 岳 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバネットシステム株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイバネットシステム株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。